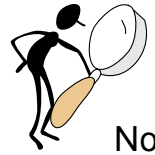




# しりょうかんだより



No.3



きょうどしりょうかん にわ 民俗資料館 には、  
きょうどしりょうかん よ 呼ばれる 古い 民家 があります。

この家は、今から270年くらい前に建てられたもので、江戸時代の庄屋（村の世話役）の家でした。中には、むかしの生活の道具がいろいろあり、実際に手にとって触れるようになっています。ぜひ、あそびにきてください。



## とよたのれきし(古代1)

(1,700年から1,300年くらい前の話)

いま 今から1,700年くらい前、  
やまと 大和地方(今の奈良県)に  
は強い国があり、つぎつぎとほかの国をしたがえてい  
ました。大和の王は自分の力をしめすために大きなお  
墓をつくりました。このようなお墓を古墳といひます。  
ほかの国にも古墳を作ることが広がったので、古墳は



日本のあちこちにあります。豊田市にもたくさんの古墳がありますので1つ  
紹介しましょう。かわい 河合町にあるとよたおおつか 豊田大塚古墳です。お茶碗をひっくりかえし  
たような形の直径30mくらいの山で、石をかさねてつくった部屋があります。  
遺体はこの石の部屋にいれられました。中からは死んだ人にお供えされた、い  
ろいろなものが発見されました。



死んだ人にはいろいろな  
ものがお供えされたんだよ。

とよたおおつかこふん  
豊田大塚古墳から発見された  
銅鏡



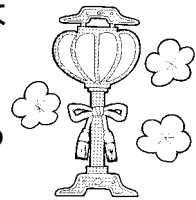
豊田大塚古墳から発見された装飾須臾器  
(国指定重要文化財)

きせつのはなし — ひなまつい —

◎ どうして女の子だけのおまつりなの？

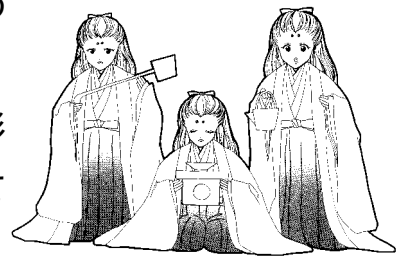
3月3日はひなまつりです。「桃の節供」ともいわれ、ひな人形をかざって桃の花やひし餅を供え、白酒を飲んで祝う女の子にとってはとくべつな日です。

ひなまつりはどうして女の子だけのおまつりなのでしょう  
か？



もともと「ひな人形」はお祓いのために川や海に流された「人形」が起源になっています。やがて身分の高い家の女性が、旅行や嫁入りの道中で災害を人形に代わってもらおうと、抱いて輿（昔の乗り物）に乗ることがならわしとなりました。そうして、嫁入り道具のなかにひな人形を入れる風習が始まりました。

江戸時代中ごろには庶民のあいだでもひな人形をかざる風習が広まり、女の子のまつりとして定着していきました。



民 具  
M I N G U

長持（ながもち）



長持はふたのある長方形の箱で、衣類や調度（日常使う身の回りの道具）をしまうのに使います。長さ1 m 50cm、幅と高さがそれぞれ60cmぐらいの大きさです。火事など緊急の時に持ち出しやすいように下に車をつけた車長持も作られました。

長持は嫁入り道具を入れて嫁ぎ先まで運ぶのにも使われました。

車長持は、江戸の明暦の大火事のと  
きにみんなが道路にもち出して逃げ  
るのに邪魔になったため、禁止され  
ました。



しりょうかんだより No.3

平成13年3月1日発行

編集・発行 豊田市郷土資料館

〒471 0079 豊田市陣中町1 21

でんわ 0565 32 6561

郷土資料館では、みなさんが住む豊田市の歴史を紹介したり、大事な資料を集めたり、遺跡の発掘調査などを行っています。